azabu sukoyaka tsusin vol.46

麻生すこやか通信 VOL.46

医療法人 札幌麻生脳神経外科病院 広報誌　2024年7月

仙台から来られた患者さまに描いていただいた似顔絵です

この1年、そして今後について

Kazutosi Hida
院長 飛驒 一利

前日本脊髄外科学会理事長
日本脊髄障害医学会理事
日本脳神経外科専門医、脊髄外科指導医
北海道大学脳神経外科同門会会長

2023年5月にコロナウイルスの扱いが５類に移行し、世の中は随分と変わり、円安のためもあるのでしょうが、日本中どこもかしこも観光客で混雑しているようです。当院もお陰様で、外来・入院ともに忙しく、最近ではちらほら外国からの患者さまも受診、治療されています。今年も米国、タイ、中国、インド、オーストラリアからの患者さまが来られました。

4月から働き方改革が始まり、6月からは新しい診療報酬改定が始まり、病院も変化を余儀無くされています。DX（デジタルトランスフォーメーション）化の一環としてAI問診も外来で始まりました。病院を受診する前から携帯でも問診が可能となり、思った以上に使いやすい印象があります。患者さまの待ち時間の短縮にも繋がるのではないかと期待しています。

医局の新しいメンバーとして２人の医師が仲間入りしました。北大脳神経外科で脳腫瘍のスペシャリストであった茂木洋晃先生が脳腫瘍センター長として4月より赴任しました。様々な脳腫瘍、頭蓋底手術、顔面痙攣、三叉神経痛などの手術もサクサクと上手に手術をしています。もう一人はリハビリ科の若林央樹先生でリハビリセンター長の安彦先生と共に回復期リハビリ病棟を支えてくれています。7月からは志藤里香先生が短期間ではありますが、脊椎脊髄疾患の勉強で来られる予定です。

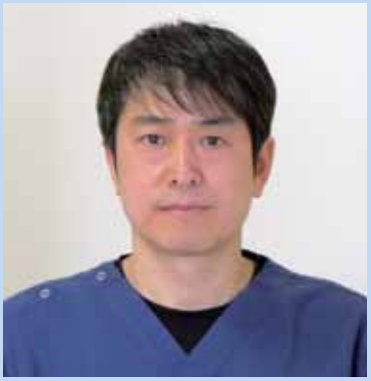
脊髄の教科書「脊椎・脊髄疾患の外科」第２版を昨年の夏に出版しました。出版から10年を目処に改訂版を出版する予定でしたが、2017年に岩崎先生が急逝され一時中断したのですが、岩崎先生の遺志を継ぐべく、同期である北海道脳神経外科記念病院の小柳泉先生と作業を再開し、なんとか改訂版を完成させました。執筆者の同門の先生達に深く感謝するとともに、本書が、脊椎・脊髄疾患の外科を志す先生、この領域に関心のあるすべての先生と医学生達にとって役に立つ教科書となることを願っています。

今年の11月には第59回日本脊髄障害医学会を開催させていただきます。副院長の矢野先生を始め、多くの先生方のご協力をいただきながら、現在準備を進めているところです。今年は「多様化社会で求められる医療」というテーマで沖縄で開催いたします。どのような学会になったかはまた来年ご報告したいと思います。

今後も患者さま、そして地域の先生方からの信頼に応えられる病院作りに邁進したいと思っています。

Doctor Profile

茂木医師が脳腫瘍センター長に就任しました



脳腫瘍センター長

茂木 洋晃 医師

日本脳神経外科学会専門医
日本神経内視鏡学会技術認定医
がん治療認定医

【専門分野】 原発性および転移性脳腫瘍、下垂体腫瘍、頭蓋底腫瘍（開頭および経鼻内視鏡頭蓋底手術）

2024年3月をもって北海道大学病院での勤務を終え、4月から札幌麻生脳神経外科病院の脳腫瘍センター長として就任させて頂いた茂木(もてぎ)と申します。この場をお借りして自己紹介をさせて頂きます。

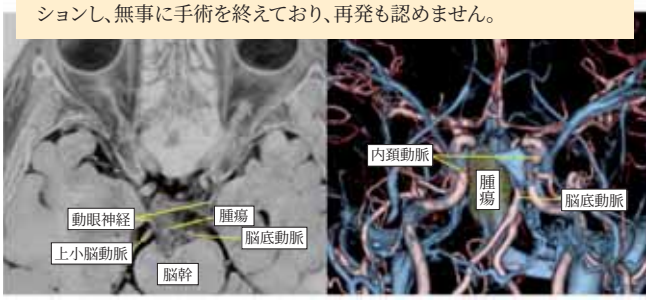
20年前の2004年3月に北海道大学を卒業し、大学病院を軸に函館、苫小牧、帯広、釧路で研鑽を積んで参りました。2013年4月から脳腫瘍グループにおけるスタッフとしての業務が始まり、苫小牧市立病院やインドのSAKRA WORLD HOSPITAL出向を間に挟み、約10年間、大学病院での脳腫瘍診療に従事してまいりました。高難易度の手術も多く、より安全に手術を行うために取り組んだのが「手術シミュレーション」と「術中モニタリング」になりますので、この場をお借りして少し紹介させて頂きます。

手術シミュレーション

より安全な手術を行うのに重要なのが「正常解剖」です。病気のある場所とその周辺にある重要な血管や神経などを熟知している事はとても大切な事です。北海道大学で白菊会の皆様から頂いた解剖実習という非常に貴重な機会を通じて、開頭術や内視鏡を用いた頭蓋底手術という高難度手術を学ばせて頂きました。手術を無事に終える度にご献体を提供して頂いた白菊会の方にいつも感謝しています。

また、手術前に詳細なCTやMRIを行い、「腫瘍がどこまで広がっているのか」「守るべき重要なものがどのように巻き込まれているか」を時間をかけてチェックします。最近では詳細な3D画像を確認できるため、安全性はさらに高まっていると感じています。

脳幹に食い込む**脊索腫**という悪性腫瘍の画像です。周囲には重要な動脈や脳神経などが多く存在します。手術前にしっかりとシミュレーションし、無事に手術を終えており、再発も認めません。



術中モニタリング

手術後に麻痺などの後遺症が出ないようにするために行う検査が「術中モニタリング」です。全身麻酔中は「患者さまの手足の動きが大丈夫かどうか」見た目だけでは分かりません。手術中に電気などで神経を刺激し、手足の筋肉の反応などを確認する事もより安全な手術のためには重要になります。手足の運動以外もさまざまなモニタリングを駆使して、より安全確実な手術を目指しています。

AIによる事前問診をおこなっています!

AI問診とは

AI問診とは、専用のタブレット端末や、スマートフォンでのAI（人工知能）による事前問診のことで、当院では今年の２月から開始いたしました。

対象の患者さま

初めて受診する方、久しぶりに症状が出現した、または前回と違う症状がある方、定期的に通院しているがいつもと違う症状が出現した患者さまに行っております。

問診する内容

「患者様の基本情報」「来院目的や症状」「症状の詳細」「これまでの病歴や生活習慣」など、患者さまにお答えいただいた症状などに、AI（人工知能）が最適な質問を自動で判断してお伺いしていきます。所要時間は10分前後と迅速で、より的確に必要な検査へのご案内につながります。

AI問診によるメリット

もしも、医師に伝えづらい内容があったとしてもスマートフォンで的確に、簡単に入力ができ、さらに言い忘れや伝えもれが少なくなります。来院前に、ご自宅や職場から当院ホームページから「来院前AI問診」を行う事も可能になりました。開始当初より、問診までの時間が短縮され、患者さまお一人お一人の受診目的を、医師が把握するまでの時間が短くなったと感じております。

今後も、身近で活用しやすく、すみやかに適切な診断、治療につながるAI問診となるよう改善を続けていきます。ぜひご活用頂きますようお願い申し上げます。
どうぞ、ご不明な点がございましたら外来職員へお気軽にお声がけ下さい。

新任ドクターご紹介 Doctor introduction

医師 若林 央樹

2024年4月より赴任いたしました、若林央樹と申します。札幌で生まれ育ち、北海道大学を卒業後はリハビリテーション科専攻医として日々学ばせていただいております。脳神経外科を専門とする病院で勤務するのは初めての経験ですので、色々と至らない点もあるかと思いますが、患者さまの身体機能の回復や日常生活動作の改善に少しでも貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2020年北海道大学医学部卒業。2020年4月よりJCHO北海道病院、2022年北海道大学病院に勤務。
2024年4月より札幌麻生脳神経外科病院勤務。

2023年 手術実績・診療実績

年間手術件数 696件（2023年）

脳腫瘍	46件
脳血管障害	106件
外傷	65件
奇形	0件
水頭症	11件
脊椎・脊髄	392件
機能的手術	22件
血管内手術	33件
その他	21件

主な内訳

脳血管障害

破裂動脈瘤	14
未破裂動脈瘤	45
頸動脈内膜剥離術	24
その他	23

脊椎・脊髄

腫瘍	48
変形性脊椎症	253
椎間板ヘルニア	20
その他	71

血管内手術

動脈瘤塞栓術	7
動静脈奇形	1
閉塞性脳血管障害	17
その他	8

外来患者数

初診患者数　5,553名
再来患者数　32,516名

入院患者数

入院患者数　2,076名
在院延患者数　44,518名

救急患者数

救急車搬入数　1,354件
その他　465件

2023年5月に新型コロナウイルスが5類感染症へ移行しましたが、その影響などもあり外来・入院、手術等の診療件数が増加しました。
外来患者数は2022年の35,325人から2023年は38,069人（+2,744人）、入院延患者数は41,914人から44,518人（+2,604人）、手術件数は594件から696件（+102件）と、軒並み前年（2022年）の実績を上回る結果となりました。手術件数においては、これまでで最も多い件数となりました。

診療受付時間

月～金　午前 8:45～午後 4:00
土　午前 8:45～午前 11:00
※お昼休みはございません
休診：日曜日・祝日・年末年始（12/30～1/3）

医療法人 札幌麻生脳神経外科病院

〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40
TEL 011-731-2321（代表） FAX 011-731-0559
ホームページ http://www.azabunougeka.or.jp

交通アクセス

- 地下鉄：南北線 北24条駅下車
  （2番・3番出口から徒歩約7分）
- 中央バス：「北21東1」下車、徒歩約2分
- 中央バス：「北24東1」下車、徒歩約2分

ホームページ

当院へのバス路線 中央バス
屯田線02・篠路駅前団地線36・元町線東70
花川南団地線09 14・花畔団地線16
石狩線・石狩線（トーメン団地行）・札厚線

※お間違いないようご注意ください

- 往路と復路とで停留所の異なる路線があります。
  花川南団地線14・花畔団地線16・石狩線・石狩線（トーメン団地行）
- バス停「北24条東1丁目」は旧石狩街道・宮の森北24条通の2カ所あります。